



資料VI 底生生物調査結果②(平成22年度春期、底生生物湿重量)

底生生物調査結果(マクロベントス・湿重量)

No.	門	綱	種名	採取方法	透明度(m) [透視度(cm)]		St.25		St.10		三枚洲		No.12		No.12		No.12		No.12		No.12		No.12		出現頻度
					緑色(24)	暗緑色(14)	A	A	B	B	A	A	B	B	A	A	B	B	A	A	B	B	A	A	
1	動物	花虫	イナシヤコ																					0.07	
2	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.41	
3	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.26	
4	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.05	
5	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.40	
6	動物	ワカシ	イナシヤコ																					1.29	
7	動物	ワカシ	イナシヤコ																					3.84	
8	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.35	
9	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.08	
10	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.08	
11	動物	ワカシ	イナシヤコ																					7.63	
12	動物	ワカシ	イナシヤコ																					19.43	
13	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.61	
14	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.69	
15	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.06	
16	動物	ワカシ	イナシヤコ																					1.65	
17	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.00	
18	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.00	
19	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.00	
20	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.01	
21	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.01	
22	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.01	
23	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.06	
24	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.71	
25	動物	ワカシ	イナシヤコ																					6.95	
26	動物	ワカシ	イナシヤコ																					12.23	
27	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.94	
28	動物	ワカシ	イナシヤコ																					1.46	
29	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.40	
30	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.02	
31	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.45	
32	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.00	
33	動物	ワカシ	イナシヤコ																					2.43	
34	動物	ワカシ	イナシヤコ																					7.29	
35	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.37	
36	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.00	
37	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.00	
38	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.01	
39	動物	ワカシ	イナシヤコ																					1.33	
40	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.11	
41	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.01	
42	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.10	
43	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.00	
44	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.01	
45	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.00	
46	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.01	
47	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.01	
48	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.00	
49	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.00	
50	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.00	
51	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.43	
52	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.08	
53	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.16	
54	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.55	
55	動物	ワカシ	イナシヤコ																					0.38	

A: スミス・マウンテンタイプ採泥器  
B: エクマン・バーンツ型採泥器

資料VI 底生生物調査結果③(平成22年度夏期、底生生物個体数)

底生生物調査結果(マクロベントス・個体数)

平成22年度 8月		調査地点		Sl.5	Sl.22	Sl.25	Sl.35	Sl.10	三枚洲		葛西人工渚		お台橋地区公園		城南大橋		森ヶ崎の鼻		羽田沖浅場		出現頻度		
No.	門	綱	種名\採取方法	A	A	A	A	B	B	A	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	合計	出現頻度
1	刺胞動物	花虫	イキンチャク目																			18	3
2	扁形動物	渦虫	ヒラムシ目																			7	1
3	紐形動物		紐形動物門																			1	1
4	軟体動物	腹足	ウネマツボ'																			5	2
5			アラシシロガイ					1														53	3
6			サルボウガイ																			14	4
7			ホトトギスガイ																			13	6
8			コウロエノカサヒバリガイ																			4	4
9			フルエキシガイ																			1	1
10			イガイガイマシ属																			157	4
11			カサガイ																			6	1
12			ホシノスガイ																			138	6
13			アサリ																			375	9
14			ハカガイ																			2	1
15			シオフキガイ																			9	2
16			シスウガイ																			61	1
17			ヒシヂガイ																			6	1
18			マサガイ																			9	2
19	環形動物	多毛	ウナギコガイ																			7	2
20			アシナカコガイ																			58	4
21			カタマカサキホシイメ																			4	2
22			ウツハネヒオ(A型)																			54	5
23			Polydora sp.																			1	1
24			トロコニシオ																			1	1
25			Scolecopsis sp.																			2	2
26			マトカシヒオ																			54	2
27			シズヒキコガイ																			5	1
28			Tharyx sp.																			3	1
29			Mediomastus sp.																			2	2
30	節足動物	甲殻	ナミ科																			4	1
31			リリョコエビ属																			1	1
32			ウカガサイガイ科ニ																			3	1
33			イワガニ科																			1	1

A: スミス・マツケンタイプ型採泥器  
B: エクマン・ハーゲン型採泥器

資料VI 底生生物調査結果④(平成22年度夏期、底生生物湿重量)

底生生物調査結果(マクロベントス・湿重量)

No.	門	綱	種名	採取方法		調査地点		8/26		8/25		8/23		8/23		8/24		8/24		8/24		8/24		出現頻度
				A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
1	輪形動物	花虫	イキンチャク目																				0.41	
2	扁形動物	渦虫	ヒラムシ目																				0.08	
3	紐形動物	腹足	ウツマツボ																				0.00	
4	軟体動物		アラムシガイ																				0.01	
5			サルボウガイ																				0.92	
6			サボウガイ																				20.73	
7			サボウガイ																				156.50	
8			コウロコバシガイ																				57.22	
9			アラムシガイ																				0.01	
10			イガイガイ																				9.11	
11			サボウガイ																				0.03	
12			サボウガイ																				6.57	
13			アサギ																				71.04	
14			ハカガイ																				0.16	
15			シオアキガイ																				18.80	
16			シクガイ																				1.66	
17			ヒシノドガイ																				0.51	
18			マサガイ																				0.28	
19	環形動物	多毛	クササキコカイ																				0.02	
20			アサガイ																				0.05	
21			サボウガイ																				0.93	
22			ヨツハネズミ(大型)																				0.00	
23			Polydora sp.																				0.00	
24			トコエズミ																				0.00	
25			Scolelepis sp.																				0.01	
26			マサガイ																				0.00	
27			シシキコカイ																				2.19	
28			Tharyx sp.																				0.04	
29			Mediomastus sp.																				0.00	
30	節足動物	甲殻	アミ科																				0.02	
31			メダカ																				0.00	
32			イサナ																				0.76	
33			イサナ																				0.04	

A: スミス・マツケンタンク型採泥器  
B: エクマンバー型採泥器

平成22年度 8月

資料Ⅶ 底生生物調査に伴う水質分析結果①(平成22年度春期)

底生生物調査結果(現場概況)

平成22年度 4・5月

調査項目	調査地点			
	St.10	三枚洲	St.31	No.12
採取年月日	4/27	4/27	4/23	4/23
採取時刻	12:15~12:40	13:00~13:40	11:45~12:20	10:01~10:37
採取器具	エクマンバージ	エクマンバージ	スマスマッキンタイヤ	スマスマッキンタイヤ
天候	小雨	小雨	曇	曇
雲量	10	10	10	10
気温	17.0	17.0	10.5	11.0
風向	S	SE	N	N
風速	1.2	5.7	4.3	1.4
満潮時間	16:36	16:36	12:08	12:08
満潮潮位	1.87	1.87	1.36	1.36
干潮時間	10:06	10:06	18:55	18:55
干潮潮位	0.17	0.17	0.52	0.52
潮差	1.70	1.70	0.84	0.84
全水深	2.8	5.5	3.1	5.6
透明度	0.8	1.8	1.7	0.5
透視度	-	-	-	-
水色	(概観)	暗灰黄緑色	暗緑色(14)	暗緑色(14)
	(透明度版)	黄茶色	黄茶色	灰黄色
水温	上	14.8	14.7	14.6
	下	14.7	13.7	14.9
塩分	上	15.3	24.3	6.2
	下	29.1	29.9	27.5
DO	上	12.7	13.3	6.1
	下	141	153	63.0
pH	上	12.8	11.2	6.4
	下	7.5	8.5	7.0
臭気	上	なし	なし	微下水臭
	下	なし	なし	なし
泥状	細砂	シルト	シルト	シルト
泥臭	なし	微硫化水素臭	なし	微硫化水素臭
泥温	14.8	13.8	13.9	14.2
泥色	7.5Y 3/1	7.5Y 3/2	7.5Y 3/1	7.5Y 2/2
	オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒	黒
夾雑物	目視できず	二枚貝の殻	目視できず	枯れ葉
主採取生物	多毛類	多毛類	多毛類	多毛類
	(有)・無	(有)・無	(有)・無	(有)・無
赤潮の有無	なし	なし	なし	なし
特記事項				

底生生物調査結果(現場概況)

平成22年度 4・5月

調査項目	調査地点			
	St.5	St.22	St.25	St.35
採取年月日	4/30	4/30	4/30	4/30
採取時刻	9:54~10:12	12:58~13:14	10:58~11:20	11:56~12:24
採取器具	スマスマッキンタイヤ	スマスマッキンタイヤ	スマスマッキンタイヤ	スマスマッキンタイヤ
天候	晴	晴	晴	晴
雲量	2	0	2	2
気温	19.0	23.0	19.5	20.5
風向	E	S	E	S
風速	1.0	2.5	2.5	3.0
満潮時間	5:01	5:01	5:01	5:01
満潮潮位	1.89	1.89	1.89	1.89
干潮時間	11:56	11:56	11:56	11:56
干潮潮位	-0.03	-0.03	-0.03	-0.03
潮差	1.92	1.92	1.92	1.92
全水深	15.4	13.3	15.6	25.3
透明度	1.1	1.9	1.4	3.0
透視度	-	-	-	-
水色	(概観)	暗灰黄緑色	暗緑色(14)	暗緑色(24)
	(透明度版)	黄茶色	黄緑色(5)	黄緑色(4)
水温	上	15.7	15.4	15.3
	下	13.8	14.1	13.7
塩分	上	18.1	27.6	29.7
	下	32.1	30.7	32.8
DO	上	7.6	10.7	9.6
	下	86.2	129	116
pH	上	5.2	8.8	4.0
	下	7.7	8.3	8.3
臭気	上	なし	なし	なし
	下	なし	なし	なし
泥状	シルト	シルト	シルト	シルト
泥臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭
泥温	14.8	14.9	15.2	14.5
泥色	7.5Y 3/1	7.5Y 3/2	7.5Y 3/2	7.5Y 3/2
	オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒
夾雑物	二枚貝の殻	二枚貝の殻	二枚貝の殻	二枚貝の殻
主採取生物	多毛類	多毛類	多毛類	多毛類
	(有)・無	(有)・無	(有)・無	(有)・無
赤潮の有無	なし	なし	なし	なし
特記事項				

底生生物調査結果(現場概況)

平成22年度 4・5月

調査項目		調査地点	葛西人工渚	お台場海浜公園	城南大橋	森ヶ崎の鼻	なぎさの森干潟	羽田沖浅場
採取年月日			4/27	4/27	5/12	5/12	5/12	5/12
採取時刻			14:30~15:14	9:52~10:40	11:58~12:20	9:56~10:25	12:35~13:05	11:00~11:40
採取器具			エクマンバージ	エクマンバージ	エクマンバージ	エクマンバージ	エクマンバージ	エクマンバージ
天候			小雨	曇	曇	曇	晴	曇
雲量			10	10	10	10	6	10
気温	(°C)		17.0	16.0	19.5	17.0	23.0	18.5
風向			E	NE	N	S	S	SW
風速	(m/s)		2.3	1.2	1.0	2.0	1.8	5.7
満潮時間			16:36	16:36	16:29	16:29	16:29	16:29
満潮潮位	(m)		1.87	1.87	1.78	1.78	1.78	1.78
干潮時間			10:06	10:06	9:57	9:57	9:57	9:57
干潮潮位	(m)		0.17	0.17	0.23	0.23	0.23	0.23
潮差			1.70	1.70	1.55	1.55	1.55	1.55
全水深	(m)		A.P. 1.31	A.P. 0.18	A.P. 0.61	A.P. 0.24	A.P. 0.97	A.P. 0.34
透明度	(m)		—	—	—	—	—	—
透視度	(cm)		25	30	23	40	44	23
水色	(概観)		暗灰黄緑色	茶色	暗灰黄緑色	暗緑色(14)	暗灰黄緑色	暗灰黄緑色
	(透明度板)		—	—	—	—	—	—
水温	上	(°C)	14.7	15.8	19.5	20.2	20.3	19.3
	下	(°C)	—	—	—	—	—	—
塩分	上		14.0	24.0	13.7	10.5	14.2	15.4
	下		—	—	—	—	—	—
DO	上	(mg/L)	9.2	14.0	6.2	6.0	7.4	7.8
		飽和度(%)	98.4	164	72.8	71.1	89.5	92.4
	下	(mg/L)	—	—	—	—	—	—
pH	上		7.4	8.3	7.0	6.7	7.2	7.3
臭気	上		なし	なし	なし	なし	なし	なし
	下		—	—	—	—	—	—
泥状			細砂	礫・細砂	細砂	細砂	細砂	粗砂・中砂
泥臭			なし	なし	なし	なし	なし	なし
泥温	(°C)		14.6	16.0	20.2	19.8	21.0	18.6
泥色			7.5Y 3/1	7.5Y 3/1	7.5Y 3/1	7.5Y 3/2	7.5Y 3/1	7.5Y 3/2
			オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒
夾雑物			目視できず	二枚貝の殻	二枚貝の殻	二枚貝の殻	二枚貝の殻	二枚貝の殻
主採取生物			多毛類	多毛類	アサリ・シオフキ・多毛類	ヒメシラトリガイ・多毛類	アサリ・サクラガイ・チロ科	多毛類
赤潮の有無			有・(無)	(有)・無	有・(無)	有・(無)	有・(無)	有・(無)
特記事項			調査時には潮が満ちており、干潟部はほとんど冠水していた。	1mm以上の礫が多かった。波打ち際にミズクラゲが打ち上げられていた。		調査時には広大な干潟が出現していた。アオサギ・カワウ・アジサンなどの鳥が多くみられた。		二枚貝の殻が多かった。

資料Ⅶ 底生生物調査に伴う水質分析結果②(平成22年度夏期)

底生生物調査結果(現場概況)

平成22年度 8月

調査項目		調査地点		St.10	三枚洲	St.31	No.12
採取年月日				8/25	8/25	8/23	8/23
採取時刻				10:56~11:10	10:29~10:50	12:54~13:18	9:56~10:32
採取器具				エクマンバージ	エクマンバージ	スミスマッペンタイヤ	スミスマッペンタイヤ
天候				晴	晴	晴	晴
雲量				2	2	1	2
気温	(°C)			32.0	32.0	34.0	33.0
風向				S	S	S	SW
風速	(m/s)			4.7	5.0	5.0	2.0
満潮時間				17:46	17:46	17:05	17:05
満潮潮位	(m)			2.00	2.00	1.93	1.93
干潮時間				11:26	11:26	10:24	10:24
干潮潮位	(m)			0.44	0.44	0.43	0.43
潮差				1.56	1.56	1.5	1.5
全水深	(m)			1.5	4.1	3.2	3.9
透明度	(m)			0.6	0.6	1.6	1.4
透視度	(cm)			—	—	—	—
水色	(概観)			灰黄緑色	灰黄緑色	暗緑色(14)	暗緑色(14)
	(透明度板)			灰黄緑色	灰黄緑色	黄緑色(5)	黄緑色(5)
水温	(°C)			29.8	29.5	28.0	29.6
	(°C)			27.7	27.7	25.8	29.2
塩分				6.5	10.1	25.7	6.4
				6.6	28.4	29.3	8.6
DO	(mg/L)			6.0	5.1	6.0	3.2
	(飽和度%)			81.7	72.8	90.3	44.5
	(mg/L)			5.8	3.4	2.1	3.3
pH				7.3	7.7	8.0	6.6
臭気				なし	なし	なし	なし
				なし	なし	なし	なし
泥状				細砂	シルト	シルト	シルト
泥臭				微下水臭	微硫化水素臭	なし	硫化水素臭
泥温	(°C)			27.6	27.6	24.8	27.0
				7.5Y 3/1	7.5Y 2/1	7.5Y 3/1	7.5Y 2/2
泥色				オリーブ黒	黒	オリーブ黒	オリーブ黒
夾雑物				二枚貝の殻	二枚貝の殻	二枚貝の殻	枯れ葉
主採取生物				アサリ・多毛類	多毛類	目視できず	コウロエンカブアヒバリガイ
赤潮の有無				有・(無)	有・(無)	有・(無)	有・(無)
特記事項						ミスクラゲが多く浮いていた。	ゴミが多く堆積していた。

底生生物調査結果(現場概況)

平成22年度 8月

調査項目		調査地点		St.5	St.22	St.25	St.35
採取年月日				8/26	8/26	8/26	8/26
採取時刻				9:45~10:15	12:30~12:57	11:00~11:20	11:40~12:10
採取器具				スミスマッペンタイヤ	スミスマッペンタイヤ	スミスマッペンタイヤ	スミスマッペンタイヤ
天候				晴	晴	晴	晴
雲量				3	1	2	2
気温	(°C)			33.0	34.0	33.5	33.5
風向				S	S	SE	S
風速	(m/s)			4.2	7.2	4.0	7.0
満潮時間				18:05	18:05	18:05	18:05
満潮潮位	(m)			2.02	2.02	2.02	2.02
干潮時間				11:54	11:54	11:54	11:54
干潮潮位	(m)			0.49	0.49	0.49	0.49
潮差				1.53	1.53	1.53	1.53
全水深	(m)			15.2	13.2	15.2	24.4
透明度	(m)			1.3	3.5	1.5	3.5
透視度	(cm)			—	—	—	—
水色	(概観)			暗灰黄緑色	暗緑色(24)	暗灰黄緑色	暗青緑色(24)
	(透明度板)			黄茶色	黄緑色(5)	黄茶色	黄緑色(4)
水温	(°C)			29.1	28.8	28.6	28.7
	(°C)			25.0	27.7	25.0	20.2
塩分				20.9	27.8	25.6	28.1
				29.9	29.2	30.8	33.6
DO	(mg/L)			8.4	8.9	11.1	8.2
	(飽和度%)			122	136	166	124
	(mg/L)			0.9	4.6	1.2	0.8
pH				8.0	8.4	8.4	8.4
臭気				なし	なし	なし	なし
				なし	なし	なし	なし
泥状				シルト	シルト	シルト	シルト
泥臭				硫化水素臭	微硫化水素臭	硫化水素臭	微硫化水素臭
泥温	(°C)			23.5	24.6	21.9	17.9
				7.5Y 2/1	7.5Y 2/1	7.5Y 2/1	7.5Y 2/1
泥色				黒	黒	黒	黒
夾雑物				二枚貝の殻	二枚貝の殻	二枚貝の殻	二枚貝の殻
主採取生物				目視できず	多毛類	目視できず	目視できず
赤潮の有無				(有)・無	有・(無)	(有)・無	有・(無)
特記事項							

底生生物調査結果(現場概況)

平成22年度 8月

調査項目		調査地点	葛西人工渚	お台場海浜公園	城南大橋	森ヶ崎の鼻	なぎさの森干潟	羽田沖浅場
採取年月日			8/25	8/23	8/24	8/24	8/24	8/24
採取時刻			11:40~12:05	11:04~11:52	12:12~12:30	11:30~11:53	12:48~13:06	10:46~11:05
採取器具			エクマンバージ	エクマンバージ	エクマンバージ	エクマンバージ	エクマンバージ	エクマンバージ
天候			晴	晴	晴	晴	晴	晴
雲量			2	2	0	0	1	1
気温		(°C)	33.0	34.0	33.0	32.0	32.0	31.5
風向			S	SE	S	SE	SE	S
風速		(m/s)	4.0	2.0	4.5	4.7	6.0	7.4
満潮時間			17:46	17:05	17:26	17:26	17:26	17:26
満潮潮位		(m)	2.00	1.93	1.98	1.98	1.98	1.98
干潮時間			11:26	10:24	10:57	10:57	10:57	10:57
干潮潮位		(m)	0.44	0.43	0.41	0.41	0.41	0.41
潮差			1.56	1.50	1.57	1.57	1.57	1.57
全水深		(m)	A.P. 0.48	A.P. 0.47	A.P. 0.52	A.P. 0.52	A.P. 0.78	A.P. 0.42
透明度		(m)	—	—	—	—	—	—
透視度		(cm)	12.5	28.0	12.0	19.0	37.5	21.0
水色		(概観)	暗灰黄緑色	暗灰黄緑色	暗灰黄緑色	暗灰黄緑色	暗灰黄緑色	暗灰黄緑色
		(透明度板)	—	—	—	—	—	—
水温	上	(°C)	32.8	30.5	33.5	30.8	31.3	29.4
	下	(°C)	—	—	—	—	—	—
塩分	上		13.4	19.6	19.3	20.0	22.6	26.7
	下		—	—	—	—	—	—
DO	上	(mg/L)	6.3	7.8	5.6	7.4	4.6	3.6
		飽和度(%)	93.9	116	87.9	111	69.8	55.2
	下	(mg/L)	—	—	—	—	—	—
pH	上		7.9	7.9	7.3	7.8	7.7	7.8
臭気	上		なし	なし	なし	なし	なし	なし
	下		—	—	—	—	—	—
泥状			細砂	礫・細砂	細砂	細砂	細砂	砂
泥臭			なし	なし	微下水臭	なし	なし	なし
泥温		(°C)	30.8	30.2	32.6	30.5	32.8	28.3
泥色			7.5Y 2/2	7.5Y 2/2	7.5Y 2/1	7.5Y 3/1	7.5Y 3/1	7.5Y 3/1
			オリーブ黒	オリーブ黒	黒	オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒
夾雑物			二枚貝の殻	二枚貝の殻	二枚貝の殻	二枚貝の殻	二枚貝の殻	二枚貝の殻
主採取生物			アサリ・シオフキ	ホトギスガイ・アサリ	サルボウガイ・シオフキ	アサリ・多毛類	コウロンカワヒバリガイ	アサリ・多毛類
赤潮の有無			有・(無)	(有)・無	有・(無)	有・(無)	有・(無)	有・(無)
特記事項			調査時には広大な干潟が出現していた。ウミウヤカモメなどの鳥が多くみられた。	1mm以上の礫が多かった。ホトギスマットが多く形成されていた。	排水口から水が流れていた。	調査時には広大な干潟が出現していた。ウミウヤカモメなどの鳥が多くみられた。		二枚貝の殻が多かった。



資料Ⅷ 底生生物調査に伴う底質分析結果①(平成22年度春期)

底生生物調査結果(底質)

平成22年度 4・5月		調査地点名			
項目	採取年月日	St.10	三枚洲	St.31	No.12
現場	採取時刻	4/27	4/27	4/23	4/23
現場	採取時刻	12:15~12:40	13:00~13:40	11:45~12:20	10:01~10:37
現場	採取器具	エクスパンパー	エクスパンパー	スミスマッキンタイヤ	スミスマッキンタイヤ
現場	水深(m)	2.8	5.5	3.1	5.6
測定項目	泥温(℃)	14.8	13.8	13.9	14.2
測定項目	泥臭	なし	微硫化水素臭	なし	微硫化水素臭
測定項目	泥色	オリブ黒	オリブ黒	オリブ黒	黒
測定項目	泥状	目視できず	二枚貝の殻	目視できず	枯れ葉
測定項目	夾雑物	多毛類	多毛類	多毛類・セウタガイ	多毛類
分析項目	強熱減量(%)	2.3	9.4	5.6	15.0
分析項目	全硫化物(mg/g)	0.09	1.17	0.15	4.94
分析項目	酸化還元電位(mV)	-73	-218	-86	-163
分析項目	礫分	0	0	0	0
分析項目	砂分	94	20	51	29
分析項目	シルト分	3	56	35	51
分析項目	粘土分	3	24	14	20
分析項目	シルト分+粘土分	6	80	49	71
分析項目	最大粒径(mm)	0.85	2.0	0.43	2.0
分析項目	中央粒径(mm)	0.17	0.024	0.077	0.036
分析項目	均等係数	1.7	-	-	-
分析項目	曲率係数	1.1	-	-	-
分析項目	土粒子の比重	2.69	2.48	2.46	2.32
分析項目	乾燥減量(%)	31.4	58.7	44.8	63.5
分析項目	COD(mg/g)	3.6	24	14	33
分析項目	酸化還元の状態	還元	還元	還元	還元
備考	その他				

底生生物調査結果(底質)

平成22年度 4・5月		調査地点名			
項目	採取年月日	St.5	St.22	St.25	St.35
現場	採取時刻	4/30	4/30	4/30	4/30
現場	採取時刻	9:54~10:12	12:58~13:14	10:58~11:20	11:56~12:24
現場	採取器具	スミスマッキンタイヤ	スミスマッキンタイヤ	スミスマッキンタイヤ	スミスマッキンタイヤ
現場	水深(m)	15.4	13.3	15.6	25.3
測定項目	泥温(℃)	14.8	14.9	15.2	14.5
測定項目	泥臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭
測定項目	泥色	オリブ黒	オリブ黒	オリブ黒	オリブ黒
測定項目	泥状	二枚貝の殻	二枚貝の殻	二枚貝の殻	二枚貝の殻
測定項目	夾雑物	多毛類	多毛類	多毛類	多毛類
分析項目	強熱減量(%)	10.9	12.8	12.6	15.6
分析項目	全硫化物(mg/g)	2.39	0.95	2.10	2.69
分析項目	酸化還元電位(mV)	-191	-168	-189	-201
分析項目	礫分	0	0	0	0
分析項目	砂分	3	1	0	0
分析項目	シルト分	72	81	71	81
分析項目	粘土分	25	18	29	19
分析項目	シルト分+粘土分	97	99	100	100
分析項目	最大粒径(mm)	0.85	0.43	0.25	0.43
分析項目	中央粒径(mm)	0.018	0.015	0.011	0.014
分析項目	均等係数	-	-	-	-
分析項目	曲率係数	-	-	-	-
分析項目	土粒子の比重	2.27	2.09	2.05	1.92
分析項目	乾燥減量(%)	73.6	76.1	77.7	81.5
分析項目	COD(mg/g)	28	38	39	54
分析項目	酸化還元の状態	還元	還元	還元	還元
備考	その他				

底生生物調査結果(底質)

平成22年度 4・5月

調査地点名		葛西人工渚	お台場海浜公園	城南大橋	森ヶ崎の鼻	なぎさの森干潟	羽田沖浅場	
現場測定項目	採取年月日	4/27	4/27	5/12	5/12	5/12	5/12	
	採取時刻	14:30~15:14	9:52~10:40	11:58~12:20	9:56~10:25	12:35~13:05	11:00~11:40	
	採取器具	エクマンバージ	エクマンバージ	エクマンバージ	エクマンバージ	エクマンバージ	エクマンバージ	
	水深(m)	A.P. 1.31	A.P. 0.18	A.P. 0.61	A.P. 0.24	A.P. 0.97	A.P. 0.34	
	泥温(°C)	14.6	16.0	20.2	19.8	21.0	18.6	
	泥臭	なし	なし	なし	なし	なし	なし	
	泥色	オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒	
	泥状	細砂	礫・細砂	細砂	細砂	細砂	粗砂・中砂	
	夾雑物	目視できず	二枚貝の殻	二枚貝の殻	二枚貝の殻	二枚貝の殻	二枚貝の殻	
分析項目	強熱減量(%)	1.8	1.5	2.0	2.5	1.7	2.4	
	全硫化物(mg/g)	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	<0.01	
	酸化還元電位(mV)	5	-52	279	260	289	270	
	粒度組成	礫分	0	41	7	0	0	6
		砂分	94	55	85	89	98	92
		シルト分	3	1	4	6	1	1
		粘土分	3	3	4	5	1	1
		シルト分+粘土分	6	4	8	11	2	2
	最大粒径(mm)	2.0	19	19	2.0	4.8	19	
	中央粒径(mm)	0.18	1.5	0.16	0.16	0.23	0.36	
	均等係数	2.3	11	2.0	2.8	1.9	1.9	
	曲率係数	0.91	1.2	0.99	1.1	0.90	1.1	
	土粒子の比重	2.68	2.68	2.66	2.63	2.64	2.68	
	乾燥減量(%)	29.7	18.0	30.0	31.3	27.3	25.5	
COD(mg/g)	2.1	1.9	2.0	4.4	1.5	<0.5		
酸化還元の状態	酸化	還元	酸化	酸化	酸化	酸化		
備考	その他		1mm以上の礫が多かった。					

資料Ⅷ 底生生物調査に伴う底質分析結果②(平成22年度夏期)

底生生物調査結果(底質)

底生生物調査結果(底質)

平成22年度 8月

平成22年度 8月

項目	調査地点名		No.12
	St.10	St.31	
採取年月日	8/25	8/23	8/23
採取時刻	10:56~11:10	12:54~13:18	9:56~10:32
採取器具	エクマンバージ	エクマンバージ	エクマンバージ
水深(m)	1.5	4.1	3.9
泥温(℃)	27.6	27.6	27.0
泥臭	微下水臭	微硫化水素臭	硫化水素臭
泥色	オリープ黒	黒	オリープ黒
泥状	細砂	シルト	シルト
夾雑物	二枚貝の殻	二枚貝の殻	二枚貝の殻
強熱減量(%)	2.2	10.8	7.5
全硫化物(mg/g)	<0.01	2.48	0.66
酸化還元電位(mV)	-2	-130	-116
水分	0	0	0
砂分	95	27	24
シルト分	1	62	60
粘土分	4	11	16
シルト分+粘土分	5	73	76
最大粒径(mm)	2.0	2.0	4.8
中央粒径(mm)	0.19	0.037	0.054
均等係数	1.8	15	29
曲率係数	0.96	2.5	1.9
土粒子の比重	2.78	2.60	2.62
乾燥減量(%)	34.0	62.8	48.1
COD(mg/g)	3.2	36	17
酸化還元の状態	還元	還元	還元
備考	その他		

項目	調査地点名		No.12
	St.5	St.22	
採取年月日	8/26	8/26	8/26
採取時刻	9:45~10:15	12:30~12:57	11:40~12:10
採取器具	エクマンバージ	エクマンバージ	エクマンバージ
水深(m)	15.2	13.2	24.4
泥温(℃)	23.5	24.6	17.9
泥臭	硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭
泥色	黒	黒	黒
泥状	シルト	シルト	シルト
夾雑物	二枚貝の殻	二枚貝の殻	二枚貝の殻
強熱減量(%)	11.4	13.4	15.2
全硫化物(mg/g)	3.70	1.98	2.66
酸化還元電位(mV)	-227	-201	-210
水分	0	0	0
砂分	2	0	1
シルト分	80	79	83
粘土分	18	21	16
シルト分+粘土分	98	100	99
最大粒径(mm)	4.8	4.8	2.0
中央粒径(mm)	0.020	0.025	0.042
均等係数	-	-	-
曲率係数	-	-	-
土粒子の比重	2.55	2.51	2.47
乾燥減量(%)	74.8	77.2	81.0
COD(mg/g)	25	36	52
酸化還元の状態	還元	還元	還元
備考	その他		

底生生物調査結果(底質)

平成22年度8月

調査地点名		葛西人工渚	お台場海浜公園	城南大橋	森ヶ崎の鼻	なぎさの森干潟	羽田沖浅場	
現場測定項目	採取年月日	8/25	8/23	8/24	8/24	8/24	8/24	
	採取時刻	11:40~12:05	11:04~11:52	12:12~12:30	11:30~11:53	12:48~13:06	10:46~11:05	
	採取器具	エクマンバージ	エクマンバージ	エクマンバージ	エクマンバージ	エクマンバージ	エクマンバージ	
	水深(m)	A.P. 0.48	A.P. 0.47	A.P. 0.52	A.P. 0.52	A.P. 0.78	A.P. 0.42	
	泥温(°C)	30.8	30.2	32.6	30.5	32.8	28.3	
	泥臭	なし	なし	微下水臭	なし	なし	なし	
	泥色	オリーブ黒	オリーブ黒	黒	オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒	
	泥状	細砂	礫・細砂	細砂	細砂	細砂	礫	
	夾雑物	二枚貝の殻	二枚貝の殻	二枚貝の殻	二枚貝の殻	二枚貝の殻	二枚貝の殻	
分析項目	強熱減量(%)	2.4	1.5	2.5	4.4	2.2	2.5	
	全硫化物(mg/g)	<0.01	0.19	0.05	0.14	0.04	0.01	
	酸化還元電位(mV)	65	-198	31	-96	46	-88	
	粒度組成	礫分	0	15	0	0	0	0
		砂分	89	81	79	80	93	95
		シルト分	7	2	15	16	3	2
		粘土分	4	2	6	4	4	3
		シルト分+粘土分	11	4	21	20	7	5
	最大粒径(mm)	2.0	9.5	2.0	4.8	4.8	4.8	
	中央粒径(mm)	0.15	1.1	0.14	0.14	0.20	0.30	
	均等係数	2.3	7.2	4.8	3.3	2.0	2.2	
	曲率係数	1.2	2.1	2.1	1.3	1.0	1.2	
	土粒子の比重	2.76	2.80	2.69	2.68	2.70	2.78	
乾燥減量(%)	31.3	19.8	32.2	37.8	29.4	25.2		
COD(mg/g)	2.4	3.0	3.8	5.8	2.9	1.3		
酸化還元の状態	酸化	還元	酸化	還元	酸化	還元		
備考	その他		1mm以上の礫が多かった。					


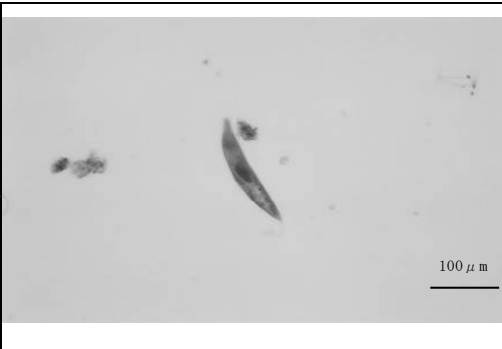

資料IX メイオベントス

年間出現種リスト

(平成 22 年度)

No.	門	綱	目	科	種名	和名
1	原生動物門	根足虫綱	有孔虫目	-	Foraminiferida	有孔虫目
2		-	-	-	CILIOPHORA	繊毛虫亜門
3	袋形動物門	イタチムシ綱	-	-	GASTROTRICHA	イタチムシ綱
4		ワムシ綱	-	-	ROTATORIA	ワムシ綱
5		線虫綱	-	-	NEMATODA	線虫綱
6	軟体動物門	二枚貝綱	-	-	BIVALVIA	二枚貝綱
7	環形動物門	多毛綱	サシカゴカイ目	カキゴカイ科	<i>Sigambra</i> sp.	
8				ゴカイ科	Nereididae	ゴカイ科
9			スピオ目	スピオ科	Spionidae	スピオ科
10				ミスヒキゴカイ科	Cirratulidae	ミスヒキゴカイ科
11			イトゴカイ目	イトゴカイ科	Capitellidae	イトゴカイ科
12		貧毛綱	-	-	OLIGOCHAETA	貧毛綱
13	節足動物門	甲殻綱	カイアシ目	-	Harpacticoida	ソコムシコ亜目
14				-	Harpacticoida(nauplius)	ソコムシコ亜目(ノープリウス幼生)
15			クーマ目	クーマ科	Diastylidae	クーマ科

出現主要種

平成22年5、8月	
原生動物門	
根足虫綱	
有孔虫目	
Foraminiferida	
説明	現生種は約5,000種といわれ、海産で、浅海から超深海まで分布する。多くは底生性であるが浮遊性の種もある。大きさは1mm以下のものが多い。殻の形質、小室のありかたなどが分類の形質となる。
平成22年5、8月	
原生動物門	
-	
繊毛虫亜門	
CILIOPHORA	
説明	淡水域から海水域まで分布し、海産種は底生性のものが多く、主として浅海域に生息するが、水深4,000mの深海にも出現する。体表面には繊毛があり、その配置などが分類の形質になる。
平成22年5、8月	
袋形動物門	
線虫綱	
-	
NEMATODA	
説明	地球上のほとんどすべての環境にみいだされる。海産の自由生活線虫類は一般的に糸状あるいは円筒状で、体長は数100 μm~10mmである。ソコムシコ類との個体数比率を環境評価指標として用いることがある。

メイオベントス個体数(平成22年度春期)

底生生物調査結果(メイオベントス・個体数)

平成22年度 4・5月

単位:個体数/32.2cm<sup>2</sup>

No.	門	綱	種名	葛西人工渚	お台場海浜公園	城南大橋	森ヶ崎の鼻	なぎの森干潟	羽田沖浅場	合計	出現頻度
1	原生動物	根足虫	有孔虫目	4/27 小雨	4/27 曇	5/12 曇	5/12 曇	5/12 晴	5/12 曇	2464	5
2		-	纖毛虫亜門	E・2.3 14.7	NE・1.2 15.8	N・1.0 19.5	S・2.0 20.2	S・1.8 20.3	SW・5.7 19.3	8224	6
3	袋形動物	イタチムシ	イタチムシ綱	上層	下層	-	-	-	-	96	2
4		ワムシ	ワムシ綱	上層	下層	13.7	10.5	14.2	15.4	32	1
5	線虫	線虫綱	線虫綱	上層	下層	-	-	-	-	26592	6
6	環形動物	多毛	スピオ科	9.2	14.0	6.2	6.0	7.4	7.8	1088	5
7			ゴカイ科	下層	-	-	-	-	-	128	2
8			イトコカイ科	上層	7.4	7.0	6.7	7.2	7.3	96	2
9		ミス	ミス綱	[25]	[30]	[23]	[40]	[44]	[23]	192	2
10	節足動物	甲殻	ゾロシノコ亜目	暗灰黄緑色	茶色	暗灰黄緑色	暗緑色(14)	暗灰黄緑色	暗灰黄緑色	32	2
11			ゾロシノコ亜目(ノープ)ウス幼生)	64	2080	96	192			2464	5
				2368	1376	1088	1408	1888	96	8224	6
					32	64				96	2
				10944	4576	7488	1664	512	1408	26592	6
				64	32	128	800	64		1088	5
				64			64			128	2
					32		64			96	2
					160				32	192	2
					224	64	96	64	1696	2144	5
					384	416	288	32	3200	4320	5

メイオベントス個体数(平成22年度夏期)

底生生物調査結果(メイオベントス・個体数)

平成22年度 8月

単位:個体数/32.2cm<sup>2</sup>

No.	門	綱	調査地点	葛西人工渚	お台場海浜公園	城南大橋	森ヶ崎の鼻	なぎさの森干潟	羽田沖浅場	出現頻度
1	原生動物	根足虫	採取年月日	8/25	8/23	8/24	8/24	8/24	8/24	6
2		一	天候	晴	晴	晴	晴	晴	晴	6
3	袋形動物	イタチムシ	風向・風速(m/s)	S	SE	S	SE	SE	S	3
4		線虫	水温(°C)	32.8	30.5	33.5	30.8	31.3	29.4	6
5	軟体動物	二枚貝	上層	-	-	-	-	-	-	4
6	環形動物	多毛	下層	13.4	19.6	19.3	20.0	22.6	26.7	1
7			塩分	-	-	-	-	-	-	5
8			DO(mg/L)	6.3	7.8	5.6	7.4	4.6	3.6	1
9	節足動物	甲殻	pH	-	-	-	-	-	-	1
10			[透視度(cm)]	7.9	7.9	7.3	7.8	7.7	7.8	2
11			水色(概観)	[12.5]	[28.0]	[12.0]	[19.0]	[37.5]	[21.0]	2
			同定結果	暗灰黄緑色	暗灰黄緑色	暗灰黄緑色	暗灰黄緑色	暗灰黄緑色	暗灰黄緑色	合計
			有孔虫目	512	96	576	288	224	64	1760
			繊毛虫亜門	64	288	160	544	5248	832	7136
			イタチムシ綱			64		32	192	288
			線虫綱	3264	736	5216	3072	1728	9024	23040
			二枚貝綱		64	32	192		128	416
			<i>Sigambra</i> sp.			192	352	64	192	64
			スビオ科	64					128	864
			ミスヒキョウカイ科						128	128
			ソコムシゴ亜目				864	96		960
			ソコムシゴ亜目(ノーブラス幼生)				224	96		320
			クママ科	128						128





### 3 試料の選別方法

採取した試料は1mmメッシュのふるいで選別を行う。採取した底泥を、ふるいに移し船上で海水を注ぎながら、またはふるいより一回り大きな容器中に汲み込んだ海水に浸してふるい、砂泥を洗い落とす。この時、多量の泥を洗うとふるいが目詰まりするので、少量ずつ洗う。

細粒の堆積物は、すぐにふるいの目が詰まるので、手で泥の塊をくずし、よくかき混ぜて泥水にする。粗い堆積物が多い場合は、ふるい分けを行う前に底泥を入れた容器に海水を注ぎ、静かにかき回して上澄みをふるいに流し込む操作を繰り返すことで、小型の生物を損傷させずに分離することができる。

### 4 試料の保存方法

ふるい上に残った生物を粗粒堆積物や貝殻などの夾雑物とともにサンプル瓶に移す。ふるい上の全ての生物を採取するため、ふるいの網目に引っかかっているものは、海水をかけてサンプル瓶に流し込む。また、網目にかままっているものは、ピンセット等でつまみ、サンプル瓶に移す。この時、生物の体が切れないよう、慎重に取り扱う。

サンプル瓶に中性ホルマリン濃度が10%になるように加えて、固定して保存する。

### 5 同定、計測方法

#### (1) 試料の前処理

ホルマリン抜き、洗い出し、仕分けの順に作業を進める。

##### ア ホルマリン抜き

ホルマリンが毒物であるという認識のもと、管理者は環境と健康に十分配慮するように努める。なお、作業者は、マスク、ゴム手袋（医療用の薄手のものが作業しやすい。）などを着用することが望ましい。また、作業中は換気に十分注意する。

調査時に使用したものと同じかそれ以下のメッシュのふるい、ホルマリン回収容器、ふるいが入る程度の大きさの底の浅い容器を用意する。

まず、サンプル瓶のホルマリンを、試料中の生物が流出しないように注意しながら、ふるいを通して回収容器中に流し出す。続いて、試料の入ったふるいを水を張った容器に浸して試料中のホルマリンを洗い出す。同作業を水を取り替えながら数回繰り返し、試料中のホルマリンを十分に抜く。

なお、回収したホルマリンは、廃棄物処理業者に委託して処理する等、関係法令を遵守すること。

##### イ 洗い出し

試料をバケツに移し、水を加えてかき回し、多毛類（環形動物）、小型甲殻類（節足動物）など比重の軽い生物を上澄み中に洗い出す。これを沈まないうちに素早くふるい上に洗い出す。この作業を数回繰り返す。

##### ウ 仕分け

洗い出しで抽出した試料、残った底質などをそれぞれ底の浅いバットやシャーレなどに移し、軽く水を加える。一般的に抽出した試料には、比重の軽い多毛類（環形動物）や小型甲殻類（節足動物）、残りの底質には主に、二枚貝等軟体動物やクモヒトデ類等棘皮動物などが多く含まれる。

生物の仕分けは、生物が確認できなくなるまで行う。

仕分けした生物は、軟体動物、環形動物、棘皮動物、節足動物、その他の5分類に分けた上で、サンプル瓶に移す。

#### (2) 同定、計測

同定、計測は、種の同定、種類別の個体数の計数、湿重量の測定の種類3の作業を行う。

仕分けした生物全てについて、実体顕微鏡や、必要に応じて生物顕微鏡を用いて可能な限り種名まで同定するとともに、個体数の計数を行う。個体が破片に分断されている場合は、頭部1個の確認あるいは分類上重要なポイントとなる部位1か所をもって1個体とする。

湿重量の測定は、試料をろ紙上に移し、表面上の水気を軽く除いた後、天秤で測定する。測定単位はgで表示し、読み取り精度は0.1~0.01g程度とする。測定の際は、生物体の破片も含めて厳密に、種類ごとに選別して計測する。